
TM

ハッテトッテアプリ

操作マニュアル

1.2 版

改版履歴

版	更新内容	更新日時
1.0	初版	2023/ 9 /25
1.1	対応ファームウェアバージョンの記載 追記 ファームウェアバージョン確認・更新方法 追記	2023/11/20
1.2	7 項追加事項記載	2024/1/29

内容

1.	初めに	3
1.1.	ハッテトッテアプリの概要	3
1.2.	ハッテトッテアプリで使用する機器	3
2.	ハッテトッテ [®] の設定	5
3.	ハッテトッテ [®] の設置	10
4.	ハッテトッテ [®] の撤去	11
5.	使用上の制限	13
6.	ハッテトッテアプリの操作	14
6.1.	全画面共通仕様	14
6.2.	アイコン説明	15
6.3.	端末の接続と設定	17
6.3.1.	端末検索および接続	17
6.3.2.	端末設定	19
6.4.	ホーム（センサー測定値表示画面）	20
6.5.	グラフ	22
6.6.	設定	25
6.7.	データ保存	26
7.	故障かなと思ったときは	27

1. 初めに

1.1. ハッテトッテアプリの概要

本アプリケーションは、DIC 株式会社製 無線センサー “ハッテトッテ®” のセンサーデータを、スマートフォン、タブレットで使用するためのアプリケーションです。データの表示・保存、警告通知を行うことができます。

【注意点】

- ハッテトッテ®から送られるデータは、ハッテトッテアプリが起動している状態でのみ、受信・記録されます。ハッテトッテアプリを閉じているとき、他のアプリケーションを使用しているときは、受信も記録も行われません。
- 保存は、スマートフォン／タブレット内部のストレージに対して行われます。保存データファイルを USB 接続した PC からダウンロードすることは出来ませんが、別のスマートフォン／タブレット／PC からインターネット経由で保存データを表示することは出来ません。

1.2. ハッテトッテアプリで使用する機器

① スマートフォンあるいはタブレット

市販のスマートフォン、タブレットをご使用ください。Android™、iOS (iPhone および iPad) に対応しております。

アプリのダウンロードは、Google Play / App Store に“ハッテトッテ”と入力して検索していただくか、ハッテトッテ製品ウェブページのリンクからダウンロードページにアクセスしてください。

[ハッテトッテアプリ | 温度・湿度・照度の管理にやさらか IoT 無線センサー ハッテトッテ®
https://www.dic-global.com/ja/products/hattetotte/app.html](https://www.dic-global.com/ja/products/hattetotte/app.html)

② ハッテトッテ®

定期的に、測定したデータを無線送信するセンサー端末です。以下の特長を持ちます。

- 薄型・小型で、目立たないデザイン
- コイン電池内蔵で配線不要
- テープで貼ってかんたん設置、剥がしてかんたん撤去
- 万一の落下時にも安心のやわらかボディ

ハッテトッテ®には、以下の2種類があります。

A) ハッテトッテ® 温湿度・照度センサー ES5000LW-ITHL



- ハッテトッテアプリに対応しているファームウェアのバージョン
ES5000LW-xTHL 用ファームウェア V1.07 以上

B) ハッテトッテ® CO2・温湿度センサー ES5000LW-IC2TH



- ハッテトッテアプリに対応しているファームウェアのバージョン
ES5000LW-IC2TH 用ファームウェア V1.01 以上

2. ハッテトッテ®の設定

ハッテトッテは、出荷時にはスマートフォン／タブレットにデータを送る設定になっていません。

そのため、本アプリを使用する前に、Windows パソコン用のハッテトッテ設定ツール（無償）を使用し、ハッテトッテ®の設定を変更する必要があります。設定ツールは、以下のダウンロードサイトからダウンロードしてください。

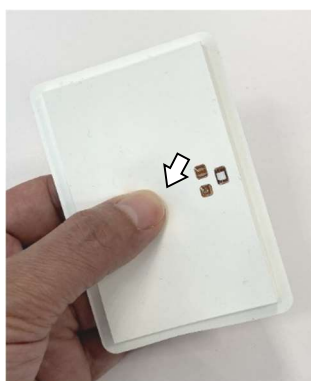
ダウンロードサイト：<https://www.dic-global.com/ja/products/hattetotte/document.html>

設定ツールはユーザー向けとエンジニア向けの二種類が存在しますが、通常はユーザー向けをご使用ください。

まず、Windows パソコンと通信するために、ハッテトッテ®を Bluetooth®接続モードにします。

● 電源スイッチの位置

A) ES5000LW-ITHL（温湿度・照度センサー）の場合



中央部よりやや左より（センサー開口部と反対方向）を軽く押さえながら指を動かすと、押下スイッチのボタンの凹凸があります。

B) ES5000LW-IC2TH（CO2・温湿度センサー）の場合



センサー開口部の位置付近の高さの左端に近いところに、電源スイッチがあります。矢印のあたりを軽く押さえながら指を動かすと、押下スイッチのボタンの凹凸があるのが分かります。

- 電源 ON/OFF 操作

A) ES5000LW-ITHL (温湿度・照度センサー) の場合



スイッチの場所の裏側も押さえながら、ハッテトッテを指で挟むような形で、表側からスイッチを3秒ほど押してください。

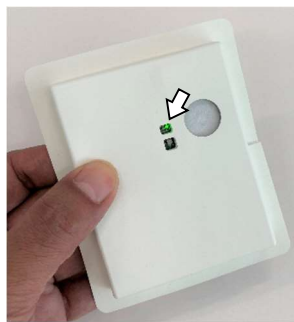


電源が入ると、LED が緑色に1秒ほど光ります。

1秒点灯→消灯を確認したら、スイッチから指を離してください。電源がONの状態になっています。

電源をオフしたい場合は、再度スイッチを3秒ほど押してください。LED が赤色に1秒ほど光ったら電源オフの状態になっています。

B) ES5000LW-IC2TH (CO2・温湿度センサー) の場合



ES5000LW-IC2TH も同様です。

ハッテトッテ®の電源が入ったら、Windows パソコン上で設定ツールを起動し、ハッテトッテ®を Bluetooth®接続モードにして、設定を変更します。

1. Windows パソコン上で設定ツールをインストールして、起動します。
2. ハッテトッテ®の電源スイッチを、ダブルクリックします (パソコンのマウスのダブルクリックと同じ要領です)。電源 LED が緑色で点滅していたら、ハッテトッテが Bluetooth®接続モードになっています。
3. 設定ツール上に、端末の情報が現れます。複数のハッテトッテが接続モードになっているときは、複数の端末が表示されます。
4. 設定の確認・変更したい端末を選択してください。
5. エンジニア向け設定ツールを使用した場合は、接続時にペアリングパスワードの入力を求められますので、エンジニア向け設定ツール操作マニュアルに記載のパスキーを入力します。
※ユーザー向け設定ツールの場合は、ペアリングパスワードの入力は要求されません。

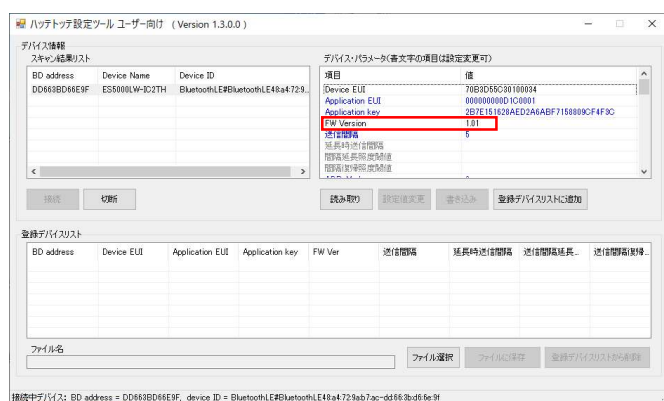
3. ハットトッテ[®]のファームウェアバージョンの確認と更新

ハットトッテアプリ[™]を使用するには、ハットトッテ[®]のファームウェアが、ハットトッテアプリ[™]に対応しているバージョンである必要があります。1.2 ハットトッテアプリで使用する機器 ②ハットトッテ[®]に記載の、バージョンになっているかを確認し、古い場合は最新版ファームウェアに更新してください。

- ファームウェアのバージョンの確認方法

ユーザー向け設定ツールまたはエンジニア向け設定ツールで確認します。各設定ツールの使い方については、それぞれの操作マニュアルを参照してください。

【ユーザー向け設定ツールのファームウェアバージョン表示場所】



【エンジニア向け設定ツールのファームウェアバージョン表示場所】



- ファームウェアの更新方法

ファームウェアの更新は、エンジニア向け設定ツールで行います。

更新方法については、エンジニア向け設定ツールの操作マニュアルを参照してください。

4. ハッテトッテ[®]の動作モードの変更（Bluetooth センシングモード）

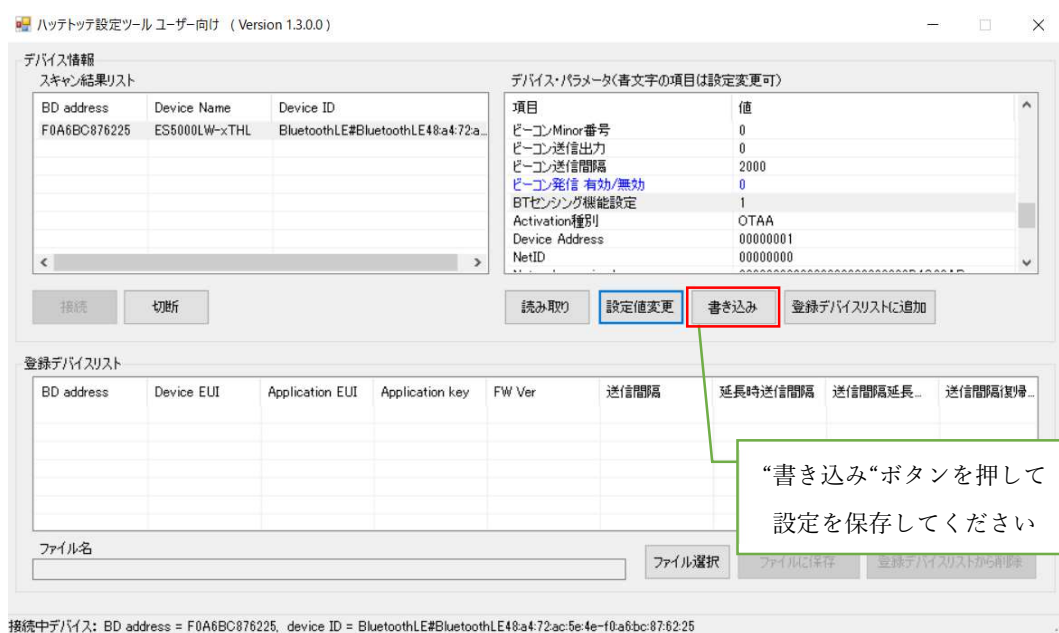
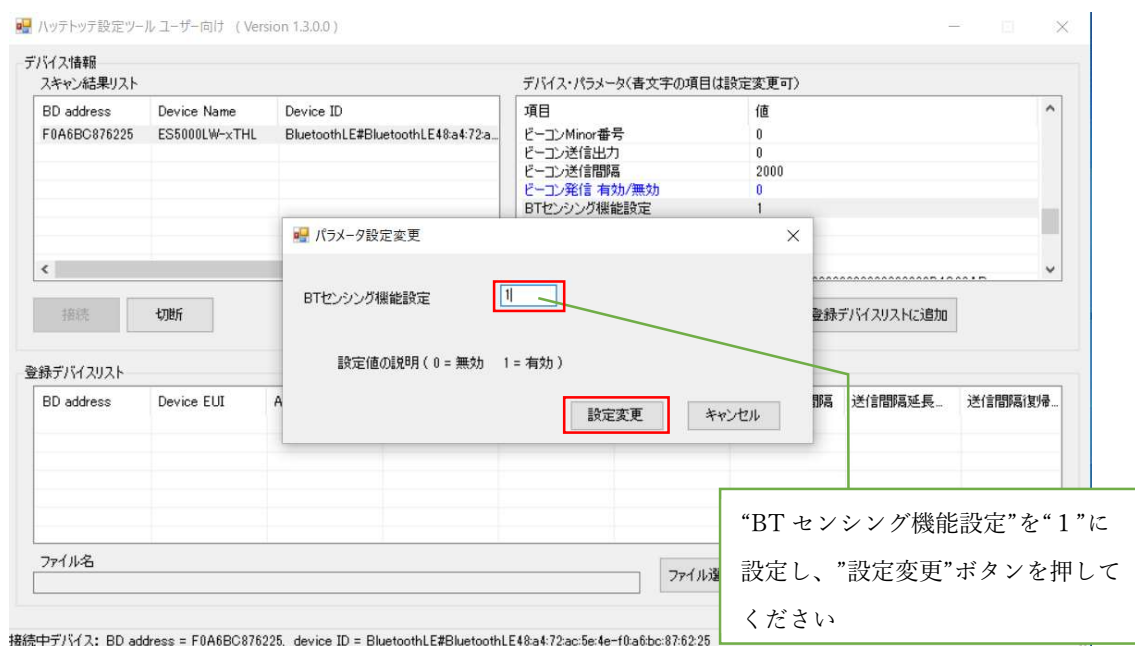
出荷時は LoRaWAN モードに設定されているので、各設定ツールの操作説明書に従い、Bluetooth センシングモードの設定確認・変更を行います。

- ハッテトッテ[®]ユーザー向け設定ツールを使用する場合

ハッテトッテ設定ツールで、下記の様に“BT センシング機能設定”を“1”に設定してください。

“設定変更”ボタンを押し下げ後、必ず“書き込み”ボタンを押し下げしてください。“書き込み”ボタンを押し下げすることで、設定が保存されます。

詳細な使用方法是、設定ツールに同梱のマニュアルを参照ください。



尚、“BT センシング機能設定”を有効(1)にすると、“ハッテトッテ[®]”の LoRaWAN 通信は無効となり

ますのでご注意ください。再度 LoRaWAN 通信での測定を有効にするには、“BT センシング機能設定”を無効(0)に設定してください。

● エンジニア向けハットトッテ設定ツールを使用する場合

エンジニア向けハットトッテ設定ルールを使用する場合は、下記の様に“BT センシングデータ送信”を有効（1）に設定してください。※名称が異なりますが、ユーザー設定ツールの“BT センシング機能設定”と同じ項目です。

詳細な使用方法是、設定ツールに同梱のマニュアルを参照ください。

デバイス情報

項目	内容
DevEUI	70B3D55C3010000D
Transmit Interval	20
Measurement Delay	10000
Join Delay	0

デバイス設定

追加チャンネル6周波数	35	0設定なし、24~61.920.6MHz~928.0MHz (37.38は除く)
追加チャンネル6データレート上限	5	0~5
追加チャンネル6データレート下限	2	0~5
追加チャンネル7周波数	36	0設定なし、24~61.920.6MHz~928.0MHz (37.38は除く)
追加チャンネル7データレート上限	5	0~5
追加チャンネル7データレート下限	2	0~5

BLE

アドバタイズインターバル[20ms]	15	1~250 ※20ms~5s
adv_start_mode	0	0:スイッチによるトリガ 1:開始時間によるトリガ
アドバタイズ開始時間[分]	5	0~60, 0は無限
アドバタイズ継続時間[秒]	60	0~240, 0は無限
BLE送信パワー[dBm]	0	4,3,0,-4,-8,-12,-16,-20,-40

ビーコン/BTセンシングデータ送信

Company ID	2723	0~65535(10進数)
UUID	58-32-28-91-E5-61-11-EC-80-00-70-B3-D5-5C-30-0D	XX-YY-...-ZZ形式
Major番号	0	0~65535(10進数)
Minor番号	0	0~65535(10進数)
BLE送信パワー[dBm]	0	4,3,0,-4,-8,-12,-16,-20,-40 (ビーコン/BTセンシングデータ送信共通)
送信間隔[ms]	2000	100 ~ 10240[ms] (ビーコン/BTセンシングデータ送信共通)
ビーコン機能	1	0:無効 1:有効
BTセンシングデータ送信	1	0:無効 1:有効 (ビーコン機能より優先されます。設定保存後、電源再投入が必要です。)

① “BT センシングデータ送信”を “1” : 有効に設定してください

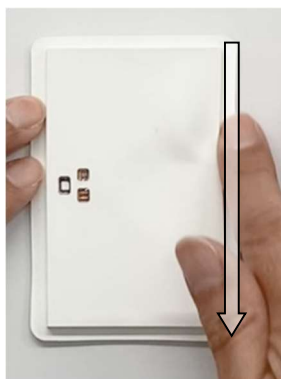
② “変更”ボタンを押します。 ※変更ボタンを押しただけでは、ハットトッテ®に変更が記録されません。

③ “保存”ボタンを押します。 ※保存ボタンを押すことで、ハットトッテ®に記録されます。

尚、“BT センシングデータ送信”を有効にすると、“ハットトッテ®”の LoRaWAN 通信は無効となりますのでご注意ください。再度 LoRaWAN 通信での測定を有効にするには、“BT センシングデータ送信”を無効(0)に設定してください。

5. ハッテトッテ®の設置

設置の詳細については、ハッテトッテ®各機種取扱説明書を参照してください。



裏面の両面テープの剥離紙を剥がし、設置対象面にハッテトッテ®を貼り付けてください。

テープのある耳の部分に、しっかりと万遍なく圧力をかけてください。圧力がかかることにより、しっかりと粘着します。



注意

押さえるのは**耳の部分**だけです。

本体部分には部品が実装されていますので、絶対に**圧力をかけないで**ください。



貼り付け対象面にゴミ・汚れ等がある場合は設置前に除去し、可能な限り対象面を平滑にしてください。除去しない場合は、粘着力が低下する場合があります。

貼り付けの際は、粘着テープにしっかりと圧力を掛けてください。圧力が不足していると、十分に粘着しない場合があります。



撤去時の粘着テープ剥離後の設置面の傷み、剥離、変色等については、対応いたしかねます。施工者の責任において事前にご確認ください。

6. ハッテトッテ[®]の撤去

① 電源 OFF 操作



電源ONの状態です電源スイッチを3秒ほど押すと、電源がOFFになります。

電源がOFFになると、LEDが赤色に1秒ほど光ります。
1秒点灯→消灯を確認したら、スイッチから指を離してください。
電源がOFFの状態になっています。



- ② 撤去用のテープつまみ部のある部分を基板ごと持ち上げ、貼り付け用テープのつまみ部をつかみます。
つかみにくい場合は、ピンセット等をご使用ください

ES5000LW-ITHL

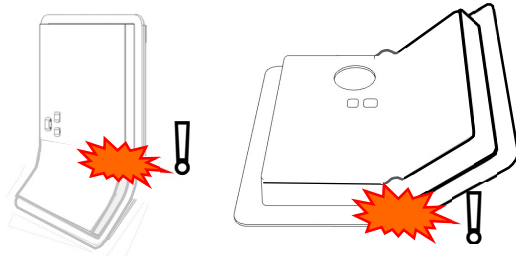


ES5000LW-IC2TH



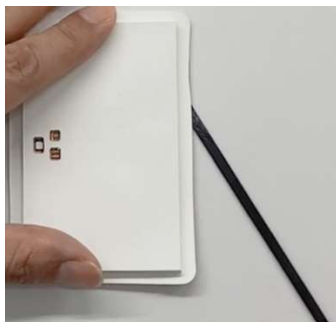
注意

めくるのは、テープのある**耳の部分**だけです。
ハッテトッテ本体部分（耳以外の部分）を曲げ
ないでください。**破損する恐れ**があります。

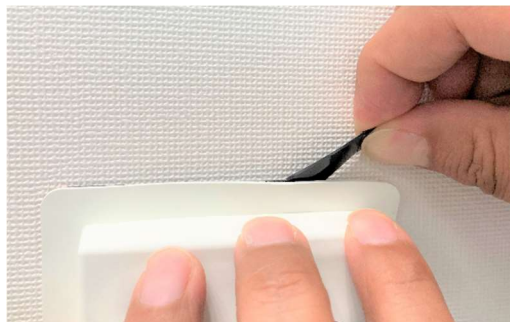


- ③ 本体カバーを軽く押さえながら、つかんだテープを下に引っ張ってください。少し引っ張ったら、そのまま貼付面と平行かつ長辺に対して 45°方向に、ゆっくり引っ張ってください。

ES5000LW-ITHL



ES5000LW-IC2TH



注意

テープを引っ張るときも、ハットトッテ本体を曲げないでください。
ハットトッテが破損する恐れがあります。



注意

粘着テープを過剰に引っ張ると、粘着テープが断裂する場合があります。断裂すると、残った部分の剥離が難しくなるだけでなく、引っ張った状態からの反動で断裂部の端が戻ってきて、手などに当たる可能性があります。粘着テープ剥離時には、過剰に引っ張って粘着テープが断裂してしまわないように、注意してください。

- ④ 片側のテープが剥がれたら反対側も同様に剥離してください。



注意

粘着テープ剥離後の設置面の傷み、剥離、変色等については、当社では対応いたしかねます。施工者の責任において事前にご確認ください。

7. 使用上の制限

- ハッテトッテ[®]およびハッテトッテアプリは、日本国内専用です。
- ハッテトッテアプリは、一般事務、個人、家庭、一般の産業等の一般用途での使用を想定して、開発・運用されています。本製品の働きが直接人命にかかわる用途、及び原子力施設における放射線管理区域内では使用しないでください。ハッテトッテアプリは、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・人体に対する重大な危険性を伴う用途に使用されるよう開発・運用されているものではありません。
高度な安全性が要求される用途に使用したことにより発生する、お客様又は第三者からのいかなる請求又は損害賠償に対して当社は一切責任を負いかねます。
- ハッテトッテアプリはデータ受信に無線を利用しております、送受信の輻輳、周囲の電波環境等によりデータが受信できずに、途切れる事がございます。データの完全性を必要とする用途には使用しないでください。

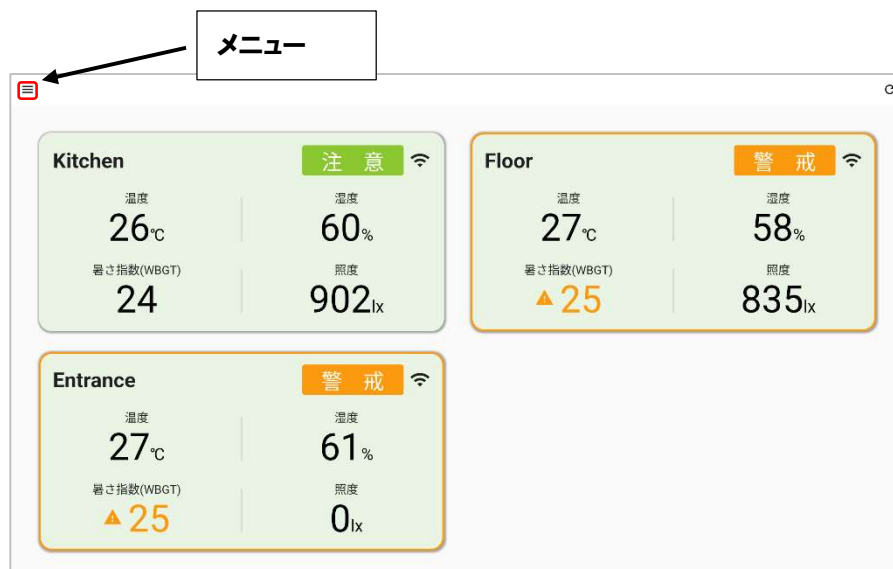
8. ハットトッテアプリの操作

8.1. 全画面共通仕様

- メニューボタン

画面左上に表示されるメニューボタンをタップすることで、選択画面が開きます。

ご希望の機能をタップすることで、各画面に遷移いたします。



8.2. アイコン説明

① 電波強度アイコン(ホーム・端末検索・端末編集画面)



弱 (受信感度が低い状態)



中 (受信感度が中程度の状態)



大 (受信感度が高い状態)

② センサー種類アイコン(端末検索・端末編集画面)



温度・湿度センサを表します。



照度センサを表します。



CO₂ センサを表します。

② 電池残量(端末編集画面)



電池残量(低)

ハッテトッテ[®]端末の電池残量が少なく、電池交換が推奨される状態です。



電池残量(高) ハッテトッテ[®]端末の電池残量が多い状態です。

③ 暑さ指数（簡易 WBGT 値）ステータス(ホーム・グラフ)



熱中症警戒レベルが“警戒”を示すアイコンとラベル



熱中症警戒レベルが“厳重警戒”を示すアイコンとラベル



熱中症警戒レベルが“危険”を示すアイコンとラベル

8.3. 端末の接続と設定

8.3.1. 端末検索および接続

近傍にあるハッテトッテ®端末を検索します。同時に接続できる端末数は最大 3 台までです。

3 台の内訳として、温湿度・照度センサーと CO2・温湿度センサーが混ざっていても問題ありません。合わせて 3 台までとなります。

※1.3 項“ハッテトッテ®端末”の設定に従い設定されたハッテトッテ®端末が近傍（数 m 以内）にある事をご確認ください。近傍に設定されたハッテトッテ®端末が無い場合、画面には何も表示されないか、または以前に接続した端末の情報が表示されます。



- ① メニューボタン
メニューを表示します。
- ② 更新ボタン
画面を更新します。
- ③ 接続端末一覧
現在接続しているハッテトッテ端末の一覧を表示します。
接続順に表示され、背景は薄緑になります。
編集したい端末をタップすることで端末編集画面に遷移します。
- ④ 未接続端末一覧
未接続ハッテトッテ端末の一覧を表示します。
電波強度、端末 ID、端末名の昇順で表示されます。

【補足】表示項目について

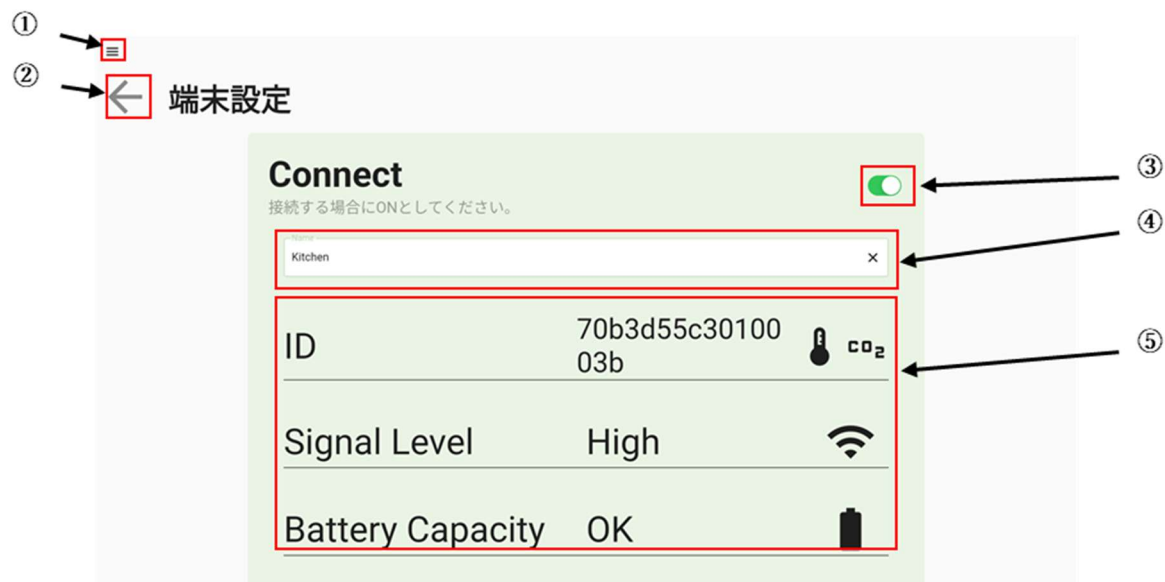


- ① 端末 ID 表示項目: 端末名が設定されている場合は端末名も表示します。
- ② センサー種別: ハットトッテ端末のセンサーから取得できる情報を表示します。
- ③ 電波強度: 最後に受信した電波強度を表示します。

8.3.2. 端末設定

検索にて検出された端末の各種設定画面です。

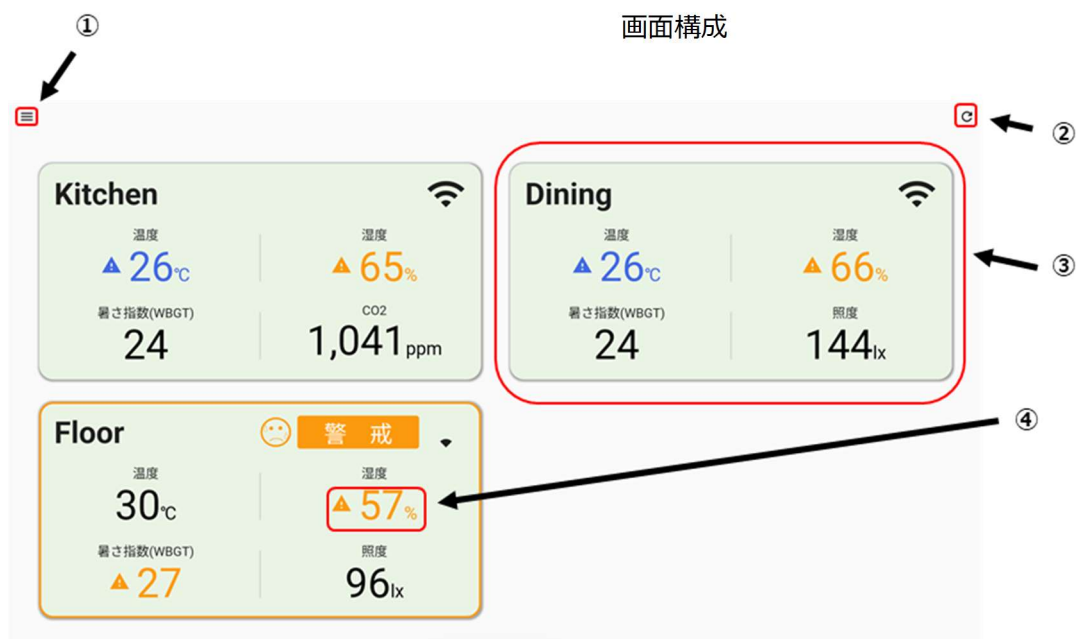
画面構成



- ① メニューボタン:メニューを表示します。
- ② 戻るボタン:端末検索画面へ戻ります。
- ③ 接続・接続解除スイッチ:ハットトッテ端末を接続・解除します。
- ④ 端末名入力欄:入力することで端末名を設定できます。
- ⑤ 端末情報部:端末の情報を表示します。
 - 1 列目: 端末 ID とセンサーの種別を表示します。
 - 2 列目: 最後に受信した端末の電波強度を表示します。
 - 3 列目: 最後に受信した電池残量を表示します。

8.4. ホーム（センサー測定値表示画面）

接続設定されたハッテトッテ®端末から受信したデータを表示します。



① メニューボタン:メニューを表示します。

② 更新ボタン:画面を更新します。

※ホーム画面は自動で更新します。(初回設定値は 10 秒毎)

③ 温度と湿度から計算された WBGT 値の値によって警告を表示します。

警告状況によって端末の枠線を警戒色で表示します。

・ 注意 (WBGT 値 25℃未満)	警告色	なし
・ 警戒 (WBGT 値 25~28℃)	警告色	
・ 嚴重警戒 (WBGT 値 28~31℃)	警告色	
・ 危険 (WBGT 値 31℃以上)	警告色	

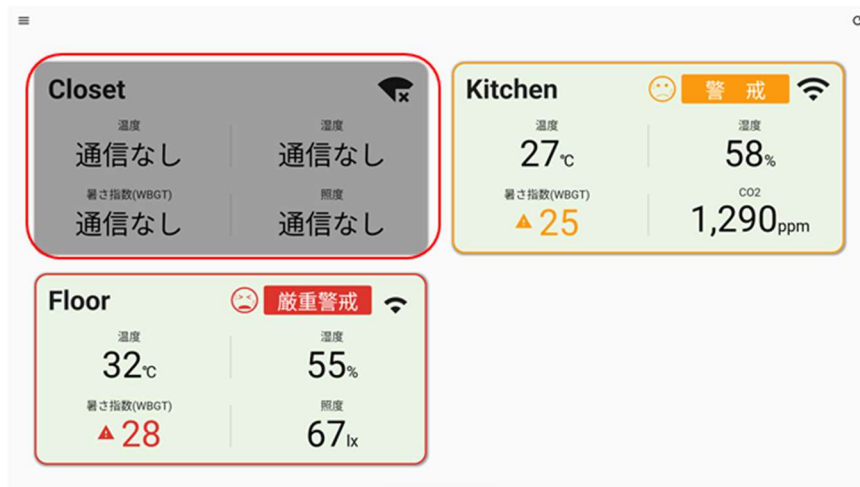
④ 温度・湿度・照度/CO2 は設定画面で閾値を設定できます。

設定された閾値をまたいだ場合、警告表示と通知を実施します。

・ 閾値を下回った場合	警告色	
・ 閾値を超えた場合	警告色	

【補足】通信が届かない端末の表示について

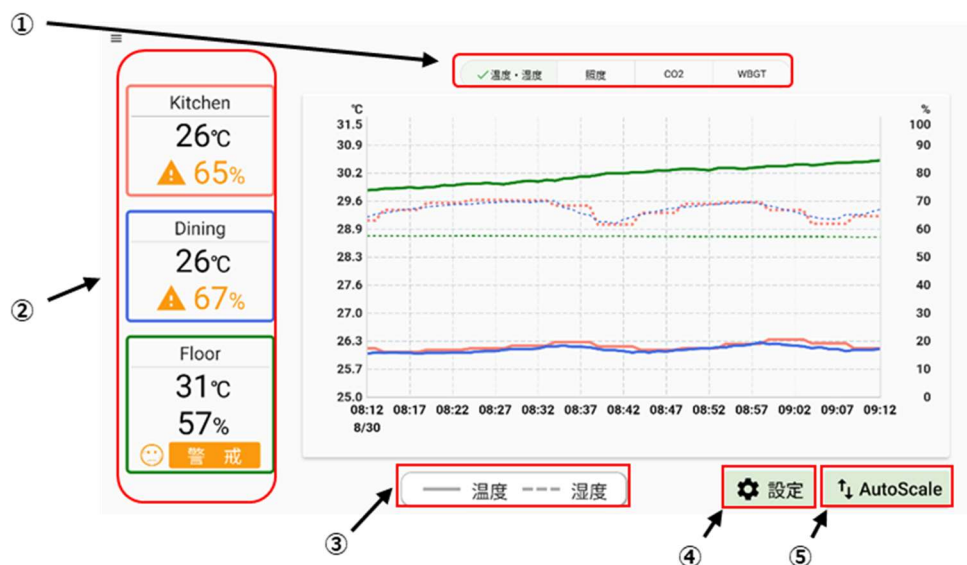
- ・最後に受信したデータが端末時刻から 10 分経過している場合は通信なしと表示されます。



8.5. グラフ

接続設定されたハットトッテ[®]端末から受信したデータを時系列でグラフ表示します。

画面構成



- ① 閲覧するグラフの種類(温度湿度・照度・CO2・WBGT)をタップで選択できます。

初期は温度・湿度が選択されています。

- ② グラフの種類に応じた端末情報を表示します。ホーム画面と同様に設定画面で設定した、警告表示閾値の範囲外のデータを受信した場合、警告表示と通知を実施します。

〔共通情報〕

- ・ 端末名 接続端末の端末名を表示します。
※端末名が未設定の場合は端末 ID を表示します。
- ・ WBGT 警告 温度湿度から算出される簡易 WBGT 値(暑さ指数)の値に応じた警告表示します。

〔固有情報〕

- ・ 温度湿度の場合 温度・湿度を表示します。
- ・ 照度の場合 照度を表示します。 ※CO2 センサーの場合は「-」が表示されます。
- ・ CO2 の場合 CO2 濃度を表示します。 ※照度センサーの場合は「-」が表示されます。
- ・ WBGT の場合 WBGT を表示します。

- ③ 折れ線グラフの線の種類を表す凡例を表示します。

- ④ 設定ボタン。押下することで表示期間やスケールを設定できる設定画面を表示します。

画面構成



- (A) 対象日時項目…表示するデータの日付を設定できます。
- (B) 表示期間項目…表示するデータの範囲を設定できます。
- (C) 縦軸スケール設定項目…グラフの縦軸スケールを設定できます。
- ※温度,照度のみ設定可能項目です。
- (D) デフォルトに戻す…押下することで対象日時と表示期間を初期設定に戻します。
- (E) 閉じるボタン…設定値でデータを再検索し、設定画面を閉じます。

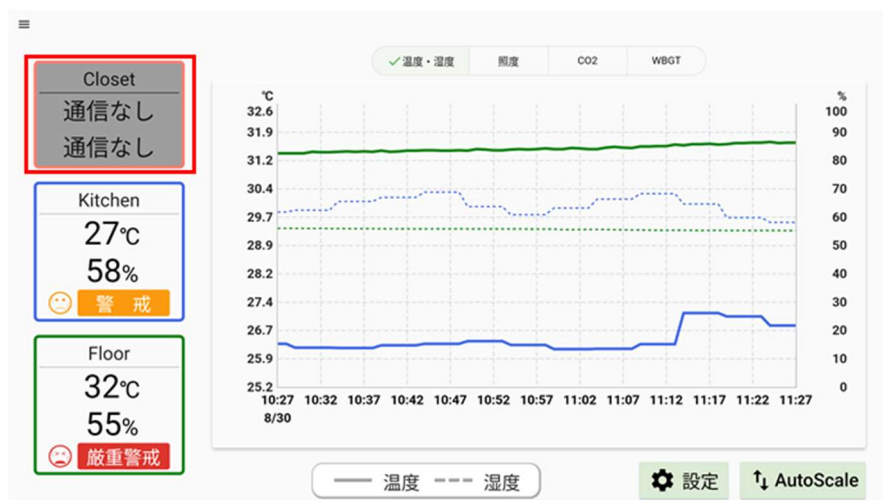
- ⑤ オートスケールボタン 押下することでグラフの縦軸をスケーリングできます。

温度,照度のみ押下可能です。

- 温度の場合
最小:表示データの最小温度の-1℃
最大:表示データの最大温度の+1℃
- 照度の場合
最小:表示データの最小照度の-1000lx
最大:表示データの最大照度の+1000lx

【補足】通信が届かない端末の表示について

- 最後に受信したデータが端末時刻から 10 分経過していた場合は通信なしと表示されます。



8.6. 設定

画面の更新頻度、警告表示の閾値設定ができます。

画面構成



- ① メニューボタン:メニューを表示します。
- ② 更新頻度(秒)入力欄: ホーム・グラフ画面の自動更新の頻度を任意に設定できます。
- ③ 温度警告表示入力欄: 温度警告表示が有効な場合に任意の範囲で閾値を設定できます。
- ④ 温度警告表示スイッチ: 温度の警告表示の有効化・無効化を切り替えられます。
- ⑤ 湿度警告表示入力欄: 湿度警告表示が有効な場合に任意の範囲で閾値を設定できます。
- ⑥ 湿度警告表示スイッチ: 湿度の警告表示の有効化・無効化を切り替えられます。
- ⑦ 照度警告表示入力欄: 照度警告表示が有効な場合に任意の範囲で閾値を設定できます。
- ⑧ 照度警告表示スイッチ: 照度の警告表示の有効化・無効化を切り替えられます。
- ⑨ CO2 警告表示入力欄: CO2 警告表示が有効な場合に任意の範囲で閾値を設定できます。
- ⑩ CO2 警告表示スイッチ: CO2 の警告表示の有効化・無効化を切り替えられます。

8.7. データ保存

ハッテトツアプリは、最大 1 か月間のデータを保持します。保持したデータを C S V 形式で出力できます。

画面構成

① → [Menu Icon]

② → [Start Date/Time Input]

③ → [End Date/Time Input]

④ → [Output Device List]

対象期間
最後の受信から最大1ヶ月分のデータまで出力可能です

日付 時刻 × ~ 日付 時刻

2023/08/27 10:00

出力機器の選択

- ↓ Dining
ID: 70b3d55c3000060c
- ↓ Floor
ID: 70b3d55c3000060b
- ↓ Kitchen
ID: 70b3d55c3010003b

- ① メニューボタン：メニューを開くことができます。
- ② 開始日時入力欄：出力する端末のデータの開始日時を任意に設定できます。
- ③ 終了日時入力欄：出力する端末データの終了日時を任意に設定できます。
- ④ 出力機器一覧：対象期間にデータが存在する端末の一覧を表示します。

【補足】対象期間の仕様について

- ・ 開始日時、終了日時が未設定の場合
全期間の出力可能な端末を表示します。
- ・ 開始日時のみが設定されている場合
開始日時から現在時刻までを出力します。
- ・ 終了日時のみが設定されている場合
現在時刻から終了日時までを出力します。

【補足】データ保存先について

- ・ iOS の場合
iOS に標準搭載されている「ファイル」アプリを使用し、「場所」>「この iPhone 内」>「ハッテトツアプリ」で確認できます。
- ・ Android™ の場合
Android™ に標準搭載されている「Files」アプリを使用し、「ダウンロード」で確認できます。

【補足】データの転送方法について

・iOS の場合

1. Windows PC への転送は画像動画ファイル以外の場合は iTunes のインストールが必要になります。
2. iTunes をインストールして USB で接続した際、iOS 端末側でコンピュータを信頼するかどうかを確認する警告メッセージが端末側で表示されるので「信頼」を選択してください。
3. iTunes の画面から端末情報>「ファイル共有」>「ハッテトッテアプリ」からファイルを選択し、保存を押してください。

※ iTunes のバージョンによって、表示が異なる可能性があります。

・Android™ の場合

1. Windows PC に端末を接続、通知バーの「このデバイスを USB で充電中」と項目をタップ。
2. 「USB の接続用途」項目の「ファイル転送」を選択。
3. WindowsPC の「エクスプローラー」の「PC」>「デバイスとドライブ」に表示されている端末をクリック。
4. 「内部共有ストレージ」>「Download」にファイルが表示されます。任意の場所に保存してください。

9. 故障かなと思ったときは

●通信できない場合

- ・ ハッテトッテ®の電源が切れていないかご確認ください。
- ・ 通信できなくなる前に電池電圧の数値が低下している場合には、電池が消耗している可能性があります。その場合には新しい電池を準備して交換してください。

●測定値が周囲の環境条件と大きく異なる場合

- ・ 使用しているハッテトッテ®の照度センサー用窓、温湿度センサー用窓が埃などでふさがっていないか確認してください。
- ・ ハッテトッテ®に直射日光が当たっていないか確認してください。

●アプリの動作が停止する、起動しない

- ・ 電波環境による影響の可能性がございます、アプリを一旦削除し再インストールをお願いいたします。更に無線機器の影響が少ない環境にて、再度動作確認をお試しください。

●お問い合わせ先

DIC 株式会社 コンポジットマテリアル製品本部 HTI 製品グループ

メールアドレス : hattetotte_inquiry@ma.dic.co.jp

商標について

- Android™ は Google LLC の商標です。
- iPad,iPhone,iTunes は Apple Inc.の商標です
- Windows はマイクロソフト グループの企業の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。 IOS は、Cisco Systems,Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

発行者

DIC 株式会社
コンポジットマテリアル製品本部 HTI 製品グループ